

2026年度 沖縄大学
学校推薦型選抜

「経法商学科小論文」
問題用紙

2025年11月22日(土)
9:00~10:00

【問題】

下記の新聞記事（「議員定数削減 民意切り捨てへの懸念」朝日新聞 2025 年 10 月 23 日朝刊）を読み、記事を簡単に要約してください。そのうえで、記事の内容について、どのような点が問題となっているかを指摘し、その問題点に対する自分の意見ないし主張を記述してください（要約とあわせて 600 字以上 800 字以内）。

なお、意見ないし主張そのものは評価の対象ではありません。いかに意見ないし主張を論理的に展開できているかを評価の対象とします。

2025・10・23

議員定数削減

民意切り捨てへの懸念

現在465人いる衆院議員の定数を1割を目標に削減する。今国会に議員立法で法案を提出し成立をめざす――。

日本維新の会が高市政権と連立を組む絶対条件として自民党に突き付け、合意書に盛り込まれたものだ。

維新が求めた企業・団体献金廃止を自民がのめないため、連立ありきで論点をすり替えたというだけではない。やみくもな定数削減は「身を切る」改革ではなく「民意を切る」ことになりかねない。

衆院の定数は小選挙区289、比例区176。合意書には削減の内訳はないが、自民、維新両党とも念頭にあるのは比例区だ。区割りの変更を伴う小選挙区より削りやすいこともあり、過去の定数削減も比例区が中心だった。

ただ、小選挙区と比例区を組み合わせた選挙制度の狙いを忘れてはならない。1人し

か当選しない小選挙区は大政党に有利で、落選者に投じられる死票が多くなる。一方、得票数に応じて議席を配分する比例区は死票が少なく、中小政党にも不利にならない。比例区の定数削減は、国会に多様な国民の声を届ける回路を狭め、少数派の声が黙殺される懸念がある。

小選挙区を削減するにしても、1票の格差を抑えようとすれば、人口の少ない地方選出の議員が減ることは避けられない。いずれにしろ慎重な検討が欠かせない。

そもそも日本の議員定数は人口に比して、それほど多くないというデータもある。6年前の調査になるが、経済協力開発機構（OECD）によると、日本は人口100万人あたり5・65人で、加盟38カ国中36番目に少ないという。定数削減は民意の反映という点で弊害がありうる。維新

の本拠地である大阪府議会を見てみよう。府政与党の維新主導で定数を109から79に削減。複数区を減らし1人区を増やしたため、今や維新が議席の約3分の2を占め、議長も副議長も独占する「1強」状態となっている。

衆院議員を「代議士」と呼ぶこともある。国民の代表として国政を議する人という意味だ。安易に私たちの代表を削れば、私たちの声を削ることになりかねない。

国民の間に議員の数を減らすことを歓迎する声があるのも事実だろう。代議士としての自分を果たしていない議員が少なくないようにみえるためではないか。

選挙制度は国権の最高機関である国会の構成を決める民主主義の土台である。全党参加の議論が不可欠で、多数派が一方的に決めることは許されない。

朝日新聞社 無断複製転載を禁じます。 © 朝日新聞社 無断複製転載を禁じます。 すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。